

政策調整担当の設置について

1 複数部局にわたる施策事業立案・調整の必要性

現在の施策事業 … 特定の部局だけでなく、複数の部局が広く連携する必要があるものが増えている。

- 子どもの体験・学び応援事業(「みらいハッ！ケン」プロジェクト)や「長野市こども“のびのび”ビジョン」のように、複数部局が知恵や力を出し合って協力しながら進める案件が増加
- 今後、「子育て環境の充実」、「経済産業の成長発展」、「スポーツの産業化」、さらにはこれらを含めた広い視点での「まちづくり」分野などについて、庁内横断的に施策展開を検討すべき状況

-
- ◎ かつては、トップマネジメントで対応する「副市長プロジェクト」によって部局連携を確保する取組み（南長野運動公園サッカー場整備や新幹線延伸対策など、加藤市長の時代の対応）
 - ◎ 副市長や部局長が個々の事業の端緒から調整を進めるには、実務レベルの情報収集が難しい
 - ◎ 秘書課に配置している政策調整担当参事がすべての部局の情報を整理し、事業関係部局とも情報共有しつつ、調整することにも限界がある状況
 - ◎ 今は、事業を部局横断的、重層的に横展開し、パッケージ化できる部局内、部局間調整の仕組みが必要

2 政策調整担当の設置（ポスト新設）

◎ 令和6年4月1日付け人事異動 重点的に取り組む課題に対応するためのポストを新設

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 政策調整主幹 | ○ 市長が市政の重点課題を位置付ける4つの政策分野にポストを新設 |
| 政策調整副主幹 | ○ 市政重点課題に関する情報を、分野別に集中・集約化する調整ポスト |
| | ○ 複数部局に関連する施策事業の立案調整を円滑にするための権限の付与 |
| | ○ 施策事業間の横連携のため相互に情報を共有、施策事業の早期立案を促進 |

（新設した政策分野）	子育て子育て	（こども未来部）	1名	（こども政策課配属）
	経済産業振興	（経済産業振興部）	2名	（商工労働課配属）
	まちづくり	（都市整備部）	1名	（公園緑地課配属）
（秘書課への配置）	政策調整担当職員の兼務による増員		2名	（定年延長職員）

- 課への配属というより、特命的に部へ職員を配置したイメージ
- 各分野2名程度を想定 → 既存の職員から部内で職員を割り当てるなどで複数職員の配置に
- このほか、スポーツ分野についても既存配置の職員に政策調整ポストを付与することを検討

- 政策調整主幹には、担当する政策・施策事業を軸にした横展開・連携のほか、予算の調整権限の設定を予定
- 特定の政策課題に関連する施策事業の立案のための情報は、政策調整担当に集中・集約化（部局内でも最初に政策調整担当へ情報を渡しておくこと。）

3 政策調整主幹による会議の設置

分野別の政策調整主幹が、相互に情報を交換、共有できるよう、定期的な会議の開催を検討

担当重点分野の情報集約・調整

子育て子育て政策調整主幹
 経済産業振興政策調整主幹
 まちづくり政策調整主幹
 スポーツ政策調整主幹



重点分野間の情報共有・調整

政策調整主幹会議

- 分野の横串案件でさらに調整が必要なもの
- 分野をまたがる案件の主担当の決定
- 市長・副市長からの指示事項の伝達・協議

- 各政策分野間で連携できるもの、連携すべきものを、定期的に会議を開催する中で確認・調整
- 施策事業を全体パッケージとして充実、効率的な事業展開につなげるよう相互に情報を共有
- 市長・副市長や秘書課政策調査担当、企画課企画調査担当との情報共有、分野による偏りの防止
- 各担当者(政策調整主幹又は副主幹)の政策調整チームとしての全体の一体感を確保
 - 会議の招集は、秘書課政策調整担当が行う。
 - 実際の業務の進め方については未確定の部分も多いことから、今後、秘書課政策調整担当において状況を見ながら、当初の目的である庁内連携強化に向けた変更を随時進める。